

**TOSHIBA**

# 2020年度 第2四半期決算

2020年11月11日

株式会社 東芝

執行役上席常務

**加茂 正治**

# 注意事項

- この資料には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- 当社グループはグローバル企業として市場環境等が異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性（経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限りません。）により、当社の予測とは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。詳細については、有価証券報告書及び四半期報告書をご参照ください。
- 注記が無い限り、表記の数値は全て連結ベースの6ヶ月累計です。
- 注記が無い限り、セグメント情報における業績を、現組織ベースに組み替えて表示しています。
- 当社はキオクシアホールディングス(株)（以下「キオクシア」）の経営に関与しておらず、同社の業績予想を入手していないため、当社グループの財政状態、経営成績またはキャッシュ・フローの見通しにはキオクシアの影響は含まれておりません。

# 今回ご説明のポイント

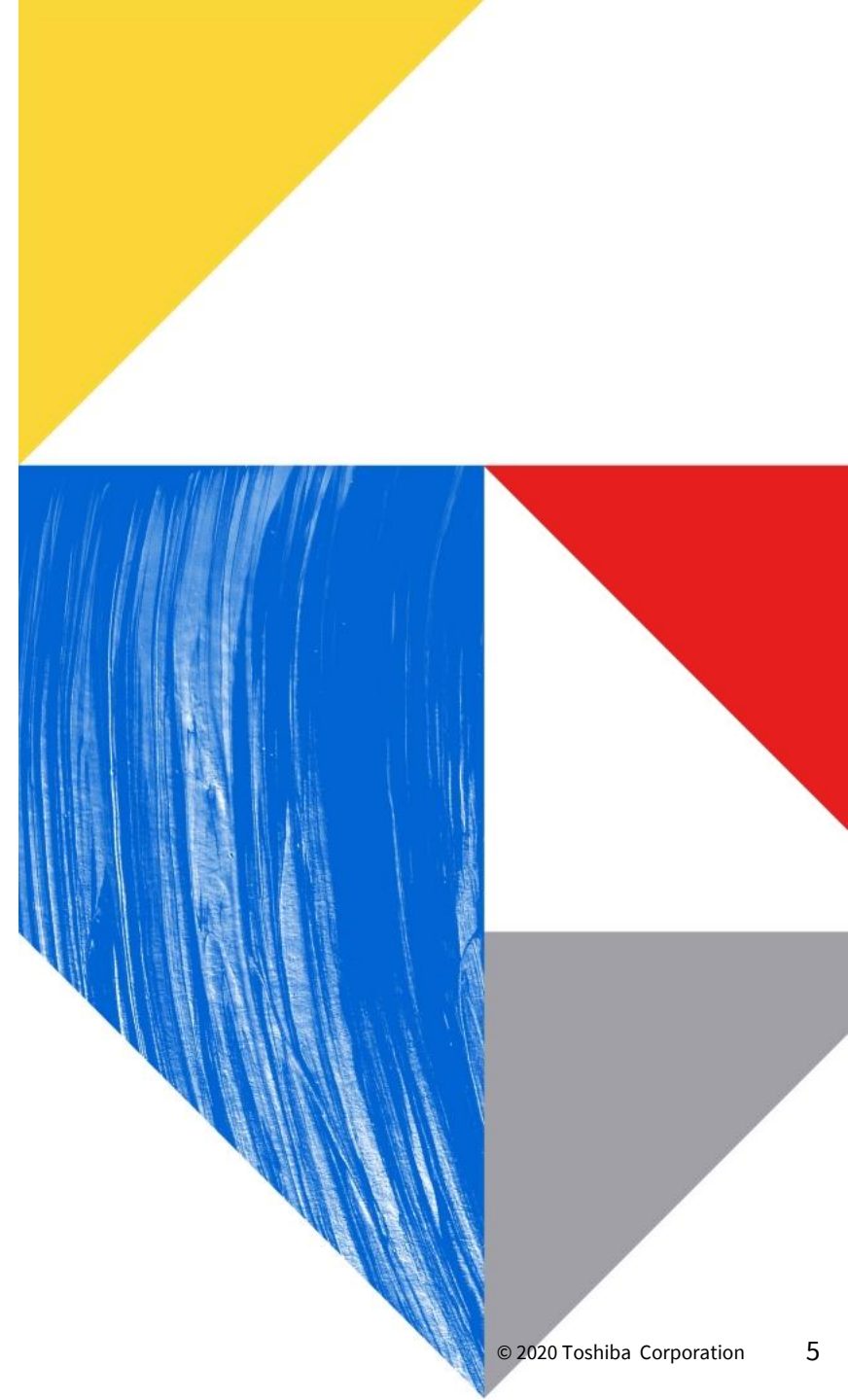
- コア営業損益\*は対前同で増益
  - 19/上期 592億円 → 20/上期 811億円
- 20/上期のコロナ影響額は前回予想(8/12公表)から大きな乖離なし
  - 20/上期営業損益影響額 前回予想 ▲713億円 → 実績 ▲702億円
- 営業損益は対前同減益も、前回予想時点の想定に対しては改善
  - 19/上期 521億円 → 20/上期 31億円
- フリー・キャッシュ・フローは対前同で改善
  - 19/上期 ▲1,421億円(うち一過性要因▲1,278億円) → 20/上期 71億円
- 受注残高は堅調に推移(対前同 +6%)
- 配当は対前期20円の増配を予定
  - 中間配当:10円、期末配当(予想):30円、年間40円(対前期20円増配)

# 本日のご説明内容

- 01 全社業績
- 02 セグメント別業績
- 03 補足説明事項
- 04 2020年度業績予想
- 05 新セグメント別現状と計画

# 01

## 全社業績



# 損益項目

コア営業損益は対前同で増益、営業損益はコロナ影響を主因に対前同減益も黒字を確保

	19/上期	20/上期	差	主な差異要因
売上高	17,114	<b>13,714</b>	<b>▲3,400</b>	(▼) コロナ影響 ▲2,275、為替影響 ▲150
伸長率			<b>▲20%</b>	(↗) ビルSL、デバイス&ストレージSL、その他 コロナ影響以外 (▼) エネルギーSL、インフラシステムSL、デジタルSL リテール&プリンティングSL
コア営業損益※1	592	<b>811</b>	<b>+219</b>	(↗) インフラシステムSL、ビルSL、リテール&プリンティングSL デバイス&ストレージSL、デジタルSL、その他
ROS※2	3.5%	<b>5.1%</b>	<b>+1.6%pt</b>	(▼) エネルギーSL、為替影響 ▲22
構造改革費用等	▲71	<b>▲78</b>	<b>▲7</b>	
コロナ影響	0	<b>▲702</b>	<b>▲702</b>	
営業損益	521	<b>31</b>	<b>▲490</b>	(↗) コア営業損益 +219
ROS	3.0%	<b>0.2%</b>	<b>▲2.8%pt</b>	(▼) コロナ影響 ▲702
EBITDA ※3	925	<b>452</b>	<b>▲473</b>	
EBITDAマージン	5.4%	<b>3.3%</b>	<b>▲2.1%pt</b>	
税引前損益	▲1,122	<b>201</b>	<b>+1,323</b>	(↗) LNG事業譲渡損失 +892 (19/上期 ▲892) キオクシア持分法損益差 +641 (19/上期 ▲613→20/上期 28)
当期純損益	▲1,451	<b>35</b>	<b>+1,486</b>	
一株当たり当期純損益	▲283.95円	<b>7.70円</b>	<b>+291.65円</b>	

単位:億円  
(↗):改善要因  
(▼):悪化要因

※“SL”はソリューションの略

※1 コア営業損益は有価証券報告書及び四半期報告書に開示される営業損益から構造改革費用等や新型コロナウイルス影響を除いたもの

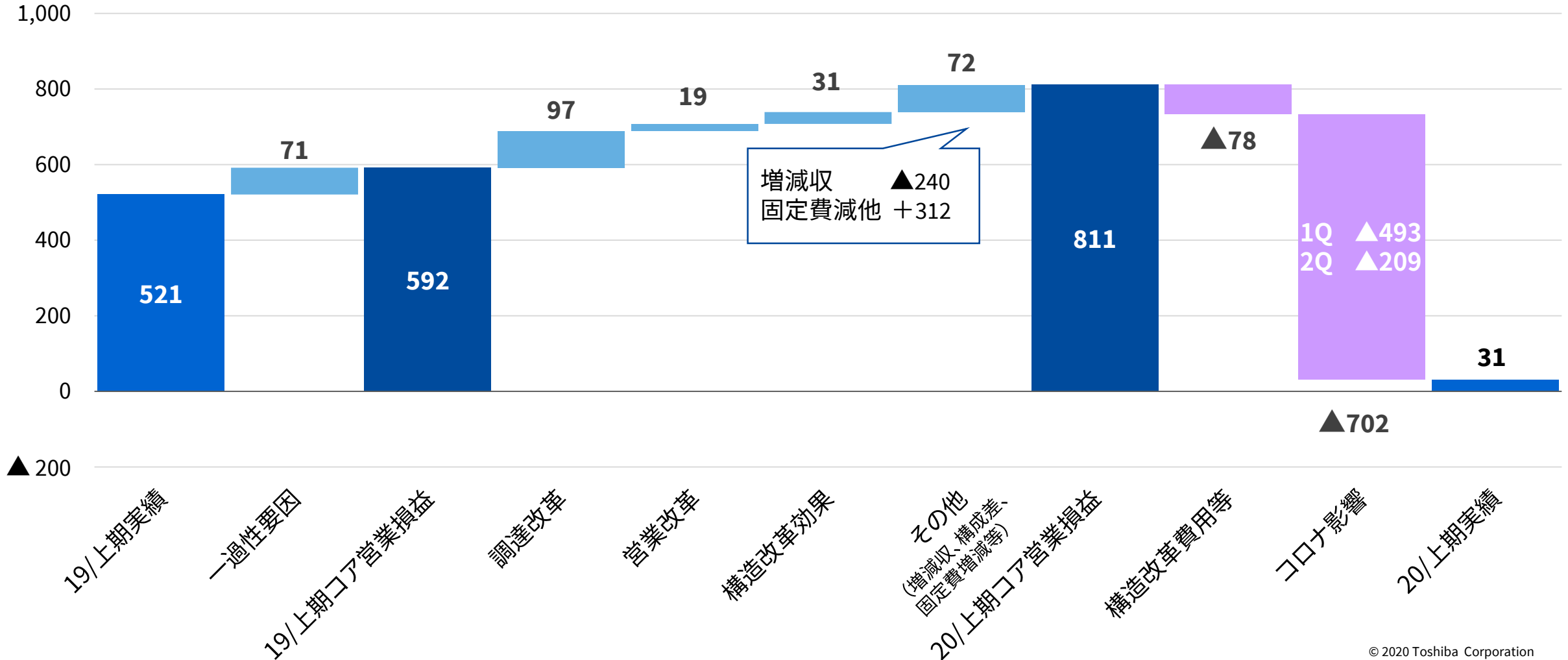
※2 ROS=コア営業損益/有価証券報告書及び四半期報告書に開示される売上高から新型コロナウイルス影響を除いた売上高

※3 EBITDA=営業損益+減価償却費

# 営業損益分析(19/上期→20/上期)

基礎収益力の強化、固定費の絞り込みによりコア営業損益は増益  
 コロナ影響により営業損益は減益も、前回予想時点の想定に対しては改善

単位:億円



# 新型コロナウイルス影響(20/2Qの営業損益影響)

20/2Qの影響額は前回予想(8/12)から大きな乖離なし

セグメント	主な理由	営業損益 影響額 20/2Q	20/上期
デバイス& ストレージ	データセンター向け HDDサンプル提出・顧客認定の遅れ	▲ 57 億円	▲ 309 億円
ビル	案件延期、据付工事遅れなど	▲ 46 億円	▲ 83 億円
リテール& プリンティング	複合機及びPOSシステムの需要減、 営業活動の制限など	▲ 42 億円	▲ 150 億円
エネルギーシステム	据付工事の遅れ、 海外製造拠点の稼働率低下など	▲ 32 億円	▲ 44 億円
上記以外のセグメント		▲ 32 億円	▲ 116 億円
合計		▲ 209 億円 (対前回予想+11億円)	▲ 702 億円



# 営業外損益

## キオクシア持分法損益の改善、前年同期のLNG事業譲渡損失影響を主因に対前同増益

単位:億円

	19/上期	20/上期	差	
金融収支	▲6	▲6	0	
為替差損益	▲32	7	+39	
固定資産売却損益	▲11	▲19	▲8	
有価証券売却損益	▲2	※1 85	+87	※1:東芝クライアントソリューション(株) (現Dynabook(株)) 株式譲渡に係る価格調整等 71
訴訟和解費用	▲59	▲16	+43	
持分法損益	▲587	80	※2 +667	※2:キオクシア持分法損益差 +641 (19/上期 ▲613→20/上期 28)
その他	※3 ▲946	39	+985	※3:LNG事業譲渡損失 (19/上期 ▲892)
<b>合計</b>	<b>▲1,643</b>	<b>170</b>	<b>+1,813</b>	

※当社はキオクシアの経営に関与しておらず、当社としてキオクシアの業績をご説明する立場にないことから キオクシアの業績の詳細についてのご説明は差し控えさせていただきます。

# キャッシュ・フロー／バランスシート項目

単位:億円  
 (↗):改善要因  
 (↘):悪化要因

	19/上期	20/上期	差	主な差異要因
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 1,421	71	+1,492	(↗) 前年度の一過性要因による影響
	20/3末	20/9末	差	主な差異要因
株主資本	9,398	9,355	▲43	(↗) 当期純損益 +35 (↘) 上場子会社の完全子会社化に伴う影響 ▲89
株主資本比率	27.8%	27.6%	▲0.2%pt	配当 ▲45
Net有利子負債 ※	182	445	+263	(↗) フリー・キャッシュ・フロー +71 (↘) 上場子会社の完全子会社化に伴う影響 ▲336
Net D/Eレシオ	2%	5%	+3%pt	
Net有利子負債 ※	▲1,405	▲1,017	+388	
Net D/Eレシオ (除オペレーティングリース債務)	▲15%	▲11%	+4%pt	
期末日為替レート (米ドル)	109円	106円	▲3円	

※ Net有利子負債がマイナスの場合、Netキャッシュの状態(現金同等物が有利子負債を上回る)であることを示しています。

# フリー・キャッシュ・フロー

## 営業キャッシュ・フロー、フリーキャッシュ・フローともに対前同改善

単位:億円

	19/上期	20/上期	差
営業キャッシュ・フロー	▲809	<b>555</b>	+1,364
投資キャッシュ・フロー	▲612	<b>▲484</b>	+128
フリー・キャッシュ・フロー	▲1,421	<b>71</b>	+1,492
(参考値)			
一過性要因 ※			
営業キャッシュ・フロー	※1 ▲1,278	※2 ▲ <b>158</b>	+1,120
投資キャッシュ・フロー	0	※3 <b>157</b>	+157
フリー・キャッシュ・フロー	▲1,278	<b>▲1</b>	+1,277
一過性要因を除く キャッシュ・フロー ※			
営業キャッシュ・フロー	469	<b>713</b>	+244
投資キャッシュ・フロー	▲612	<b>▲641</b>	▲29
フリー・キャッシュ・フロー	▲143	<b>72</b>	+215

### EBITDA→営業CF

<b>EBITDA</b>	<b>452</b>
ロスコン	▲50
税金	▲291
その他※4	+602
<b>営業CF</b>	<b>713</b>

※社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

※1 LNG事業譲渡損失、支払いの期ずれ

※2 下請取引条件改善影響

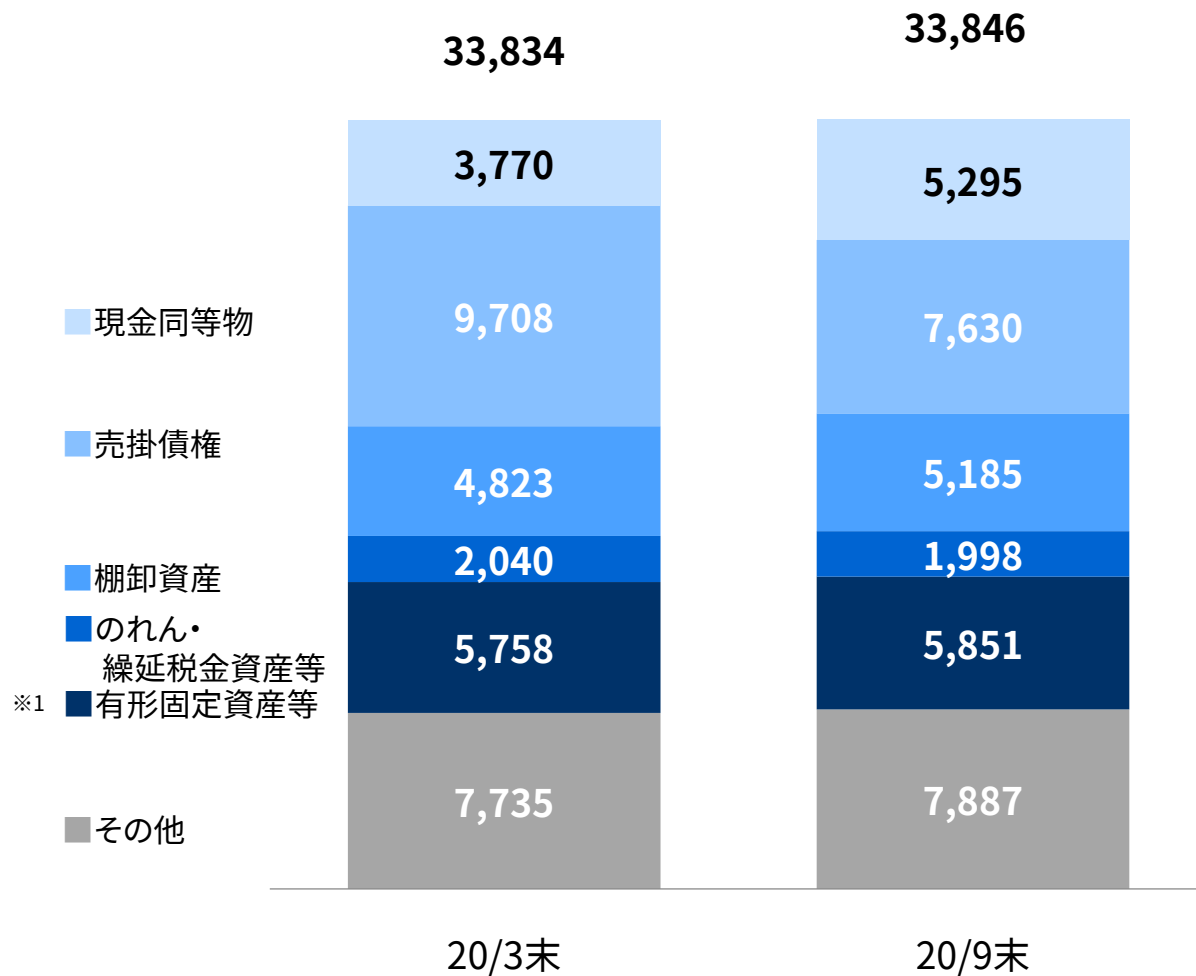
※3 当社の保有する投資有価証券の一部譲渡、東芝クライアントソリューション(株)(現Dynabook(株))株式譲渡に係る価格調整等

※4 主に運転資金の改善

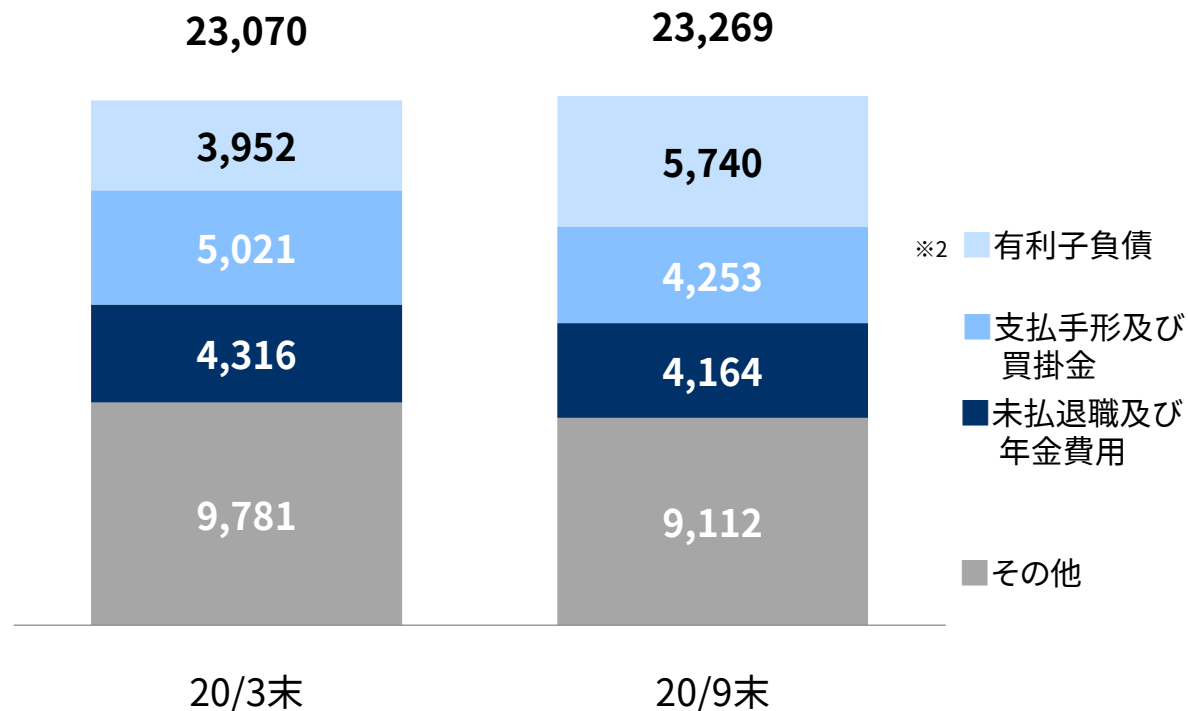
# 貸借対照表

単位:億円

## 資産



## 負債



※1 オペレーティング・リース使用权資産(20/3末1,555億円、20/9末1,449億円)を含みます

※2 オペレーティング・リース債務(20/3末1,587億円、20/9末1,462億円)を含みます

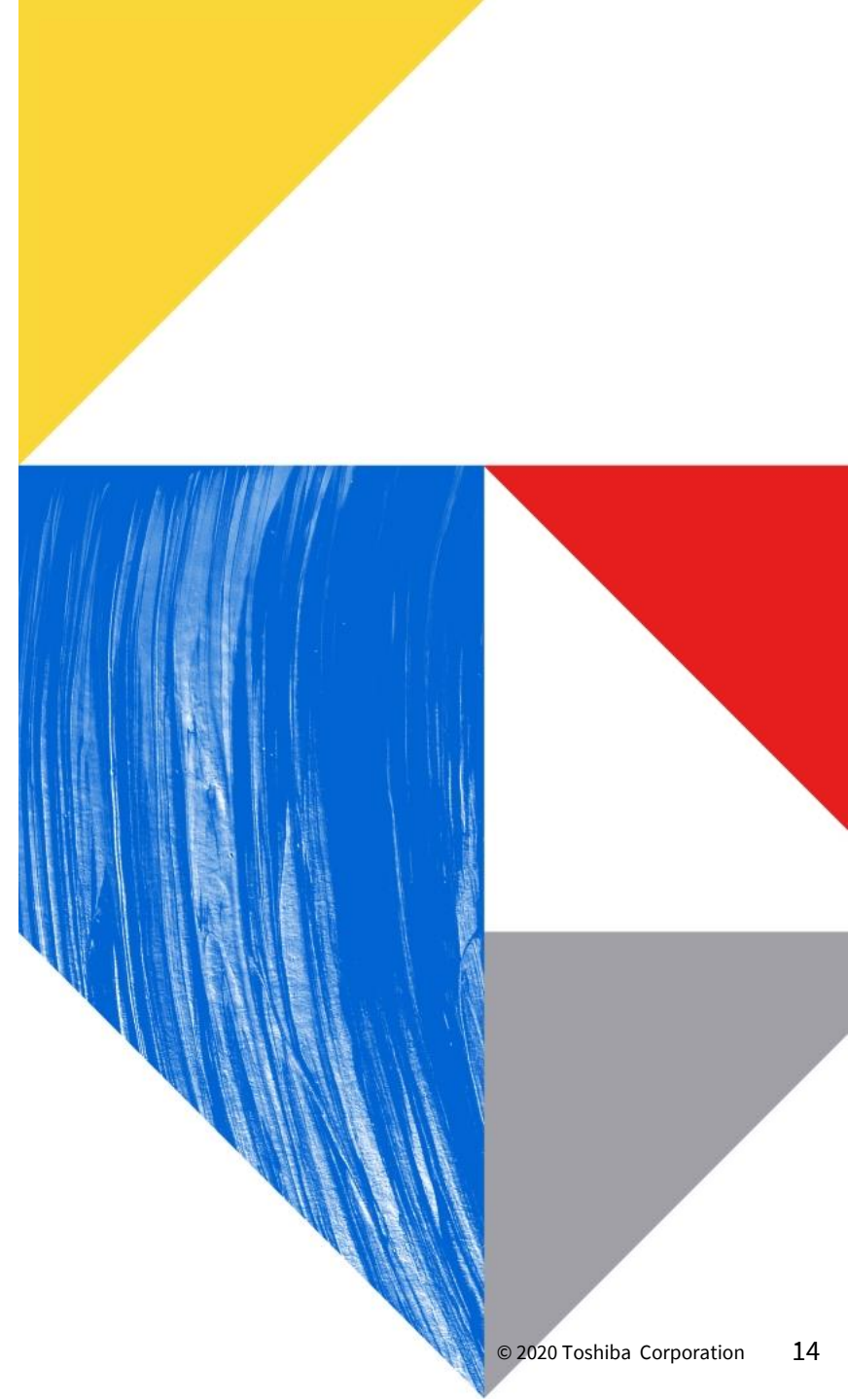
# 詳細項目

単位:億円

	19/上期	20/上期	差
売上高	17,114	<b>13,714</b>	▲3,400
営業損益	521	<b>31</b>	▲490
営業外損益	▲1,643	<b>170</b>	+1,813
税引前損益	▲1,122	<b>201</b>	+1,323
税金費用	▲166	<b>▲126</b>	+40
非支配持分控除前 当期純損益	▲1,288	<b>75</b>	+1,363
非支配持分帰属損益	▲163	<b>▲40</b>	+123
当期純損益	▲1,451	<b>35</b>	+1,486
1株当たり当期純損益	▲283.95円	<b>7.70円</b>	+291.65円
フリー・キャッシュ・フロー	▲1,421	<b>71</b>	+1,492
	20/3末	20/9末	差
株主資本	9,398	<b>9,355</b>	▲43
株主資本比率	27.8%	<b>27.6%</b>	▲0.2%pt
純資産	10,764	<b>10,577</b>	▲187
Net有利子負債	182	<b>445</b>	+263
Net D/Eレシオ	2%	<b>5%</b>	+3%pt
期末日為替レート(米ドル)	109円	<b>106円</b>	▲3円

# 02

## セグメント別業績



# セグメント別

								単位:億円	
		19/上期	19/上期 コアベース	20/上期	20/上期 コアベース	対前同 コアベース	(伸長率)	20/上期 構造改革費用等	20/上期 コロナ影響
エネルギーシステム ソリューション	売上高	2,887	2,887	1,901	2,024	▲863	(▲30%)		▲123
	営業損益	106	106	▲75	▲20	▲126		▲11	▲44
	ROS	3.7%	3.7%	▲3.9%	▲1.0%	▲4.7%pt			
インフラシステム ソリューション	売上高	3,203	3,203	2,882	3,042	▲161	(▲5%)		▲160
	営業損益	108	108	72	134	+26			▲62
	ROS	3.4%	3.4%	2.5%	4.4%	+1.0%pt			
ビル ソリューション	売上高	2,887	2,887	2,593	2,911	+24	(+1%)		▲318
	営業損益	157	163	103	186	+23			▲83
	ROS	5.4%	5.6%	4.0%	6.4%	+0.8%pt			
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	2,527	2,527	1,941	2,385	▲142	(▲6%)		▲444
	営業損益	104	109	▲68	148	+39		▲66	▲150
	ROS	4.1%	4.3%	▲3.5%	6.2%	+1.9%pt			
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	4,020	4,020	3,240	4,304	+284	(+7%)		▲1,064
	営業損益	117	166	46	355	+189			▲309
	ROS	2.9%	4.1%	1.4%	8.2%	+4.1%pt			
デジタル ソリューション	売上高	1,408	1,408	999	1,114	▲294	(▲21%)		▲115
	営業損益	61	72	46	82	+10		▲1	▲35
	ROS	4.3%	5.1%	4.6%	7.4%	+2.3%pt			
その他	売上高	1,640	1,640	1,359	1,410	▲230	(▲14%)		▲51
	営業損益	▲163	▲163	▲134	▲115	+48			▲19
消去	売上高	▲1,458	▲1,458	▲1,201	▲1,201	+257			
	営業損益	31	31	41	41	+10			
合計	売上高	17,114	17,114	13,714	15,989	▲1,125	(▲7%)		▲2,275
	営業損益	521	592	31	811	+219		▲78	▲702
	ROS	3.0%	3.5%	0.2%	5.1%	+1.6%pt			

※コアベース:有価証券報告書及び四半期報告書に開示される売上高及び営業損益から構造改革費用等や新型コロナウイルス影響を除いたもの。

# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

単位:億円

		19/上期	19/上期 コアベース	20/上期	20/上期 コアベース	前同差 コアベース	主な差異要因
エネルギーシステム ソリューション	売上高	2,887	2,887	1,901	2,024	▲863	為替影響 ▲30
	営業損益	106	106	▲75	▲20	▲126	為替影響 +2
	ROS	3.7%	3.7%	▲3.9%	▲1.0%	▲4.7%pt	
	セグメント別FCF			101			
原子力	売上高	593	593	459	459	▲134	(▼) 安全対策工事関連の工程進捗差
	営業損益	69	69	▲43	▲42	▲111	(▼) 減収による減益
	ROS	11.6%	11.6%	▲9.4%	▲9.2%	▲20.8%pt	19/上期 過去海外案件の精算
火力・水力	売上高	1,170	1,170	762	831	▲339	(▼) 火力建設案件の減少等
	営業損益	▲28	▲28	26	67	+95	(↗) 不採算案件の減少による増益
	ROS	▲2.4%	▲2.4%	3.4%	8.1%	+10.5%pt	(▼) 減収による減益
送変電・配電等	売上高	1,212	1,212	697	751	▲461	(▼) 送変電・配電システム 再生可能エネルギー（太陽光関連）事業
	営業損益	78	78	▲42	▲30	▲108	(▼) 不採算案件による減益
	ROS	6.4%	6.4%	▲6.0%	▲4.0%	▲10.4%pt	減収による減益
その他	売上高	▲88	▲88	▲17	▲17	+71	
	営業損益	▲13	▲13	▲16	▲15	▲2	

※コアベース:有価証券報告書及び四半期報告書に開示される売上高及び営業損益から構造改革費用等や新型コロナウイルス影響を除いたもの。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。



# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

## ビルソリューション

単位:億円

		19/上期	19/上期 コアベース	20/上期	20/上期 コアベース	前同差 コアベース	主な差異要因
インフラシステム ソリューション	売上高	3,203	3,203	2,882	3,042	▲161	為替影響 ▲15
	営業損益	108	108	72	134	+26	為替影響 ▲2 構造改革効果 +5
	ROS	3.4%	3.4%	2.5%	4.4%	+1.0%pt	
	セグメント別FCF			361			
公共インフラ	売上高	1,703	1,703	1,506	1,570	▲133	(▼) 社会システム事業の規模減 (⤴) 電波システム事業の規模増
	営業損益	62	62	38	57	▲5	(▼) 社会システム事業の減収による減益
	ROS	3.6%	3.6%	2.5%	3.6%	0.0%pt	(⤴) 電波システム事業の増収益及び固定費削減
鉄道・産業システム <sup>※1</sup>	売上高	1,835	1,835	1,646	1,742	▲93	(▼) 産業システム事業の規模減
	営業損益	46	46	34	77	+31	(⤴) 案件構成差による改善及び固定費削減
	ROS	2.5%	2.5%	2.1%	4.4%	+1.9%pt	
その他	売上高	▲335	▲335	▲270	▲270	+65	
ビルソリューション	売上高	2,887	2,887	2,593	2,911	+24	為替影響 ▲34 (⤴) 空調、照明 (▼) 昇降機 (国内)
	営業損益	157	163	103	186	+23	為替影響 ▲3 構造改革効果 +6
	ROS	5.4%	5.6%	4.0%	6.4%	+0.8%pt	(⤴) 照明、昇降機 (海外) (▼) 昇降機 (国内)
	セグメント別FCF			242			

※1 終息事業の損失等を含む

※コアベース:有価証券報告書及び四半期報告書に開示される売上高及び営業損益から構造改革費用等や新型コロナウイルス影響を除いたもの。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

		19/上期	19/上期 コアベース	20/上期	20/上期 コアベース	前同差 コアベース	主な差異要因	単位:億円
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	4,020	4,020	<b>3,240</b>	<b>4,304</b>	+284	為替影響 ▲45	
	営業損益	117	166	<b>46</b>	<b>355</b>	+189	為替影響 ▲16 構造改革効果 +1	
	ROS	2.9%	4.1%	<b>1.4%</b>	<b>8.2%</b>	+4.1%pt		
	セグメント別FCF			<b>▲271</b>				
半導体 <sup>※1</sup>	売上高	1,597	1,597	<b>1,479</b>	<b>1,763</b>	+166	(↗) (D) 車載向けを中心とした市況回復	
	営業損益	80	80	<b>41</b>	<b>195</b>	+115	(↗) (D) 増収に伴う増益	
	ROS	5.0%	5.0%	<b>2.8%</b>	<b>11.1%</b>	+6.1%pt	(↗) (S) 構造改革効果	
HDD他 <sup>※2</sup>	売上高	2,423	2,423	<b>1,761</b>	<b>2,541</b>	+118	(↗) (H) 大容量企業向けHDD販売増	
	営業損益	37	86	<b>5</b>	<b>160</b>	+74	(↗) (H) 増収に伴う増益及び経費削減効果	
	ROS	1.5%	3.5%	<b>0.3%</b>	<b>6.3%</b>	+2.8%pt		

※1 : ディスクリート、システムLSI、ニューフレアテクノロジー社 (NFT)

※2 : HDD、部品材料、転売等

(D) : ディスクリート

(S) : システムLSI

(N) : ニューフレアテクノロジー

(H) : HDD

(転) : メモリー転売

※コアベース:有価証券報告書及び四半期報告書に開示される売上高及び営業損益から構造改革費用等や新型コロナウイルス影響を除いたもの。

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

# リテール&プリンティングソリューション デジタルソリューション

単位:億円

		19/上期	19/上期 コアベース	20/上期	20/上期 コアベース	前同差 コアベース	主な差異要因
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	2,527	2,527	1,941	2,385	▲142	為替影響 ▲26 (▼) (R)減収 (▼) (P)減収
	営業損益	104	109	▲68	148	+39	為替影響 ▲3 構造改革効果 +15
	ROS	4.1%	4.3%	▲3.5%	6.2%	+1.9%pt	(▼) (R)減益 (↗) (P)増益
	セグメント別FCF			▲152			
							(R):リテール事業 (P):プリンティング事業
		19/上期	19/上期 コアベース	20/上期	20/上期 コアベース	前同差 コアベース	主な差異要因
デジタルソリューション	売上高	1,408	1,408	999	1,114	▲294	為替影響 ±0 (▼) 官公庁向けシステム案件 関係会社事業売却影響 TSC社における取引影響 (※1) ▲215
	営業損益	61	72	46	82	+10	為替影響 ±0 構造改革効果 +4
	ROS	4.3%	5.1%	4.6%	7.4%	+2.3%pt	(↗) 固定費削減効果 (▼) TSC社における取引影響 (※1) ▲9
	セグメント別FCF			51			

※コアベース:有価証券報告書及び四半期報告書に開示される売上高及び営業損益から構造改革費用等や新型コロナウイルス影響を除いたもの。

TSC社:東芝ITサービス株式会社

※セグメント別フリー・キャッシュ・フローは、社内管理上の経営指標であり、キャッシュ・フロー計算書上のフリー・キャッシュ・フローとは為替変動影響額の取扱い等が異なります。

© 2020 Toshiba Corporation

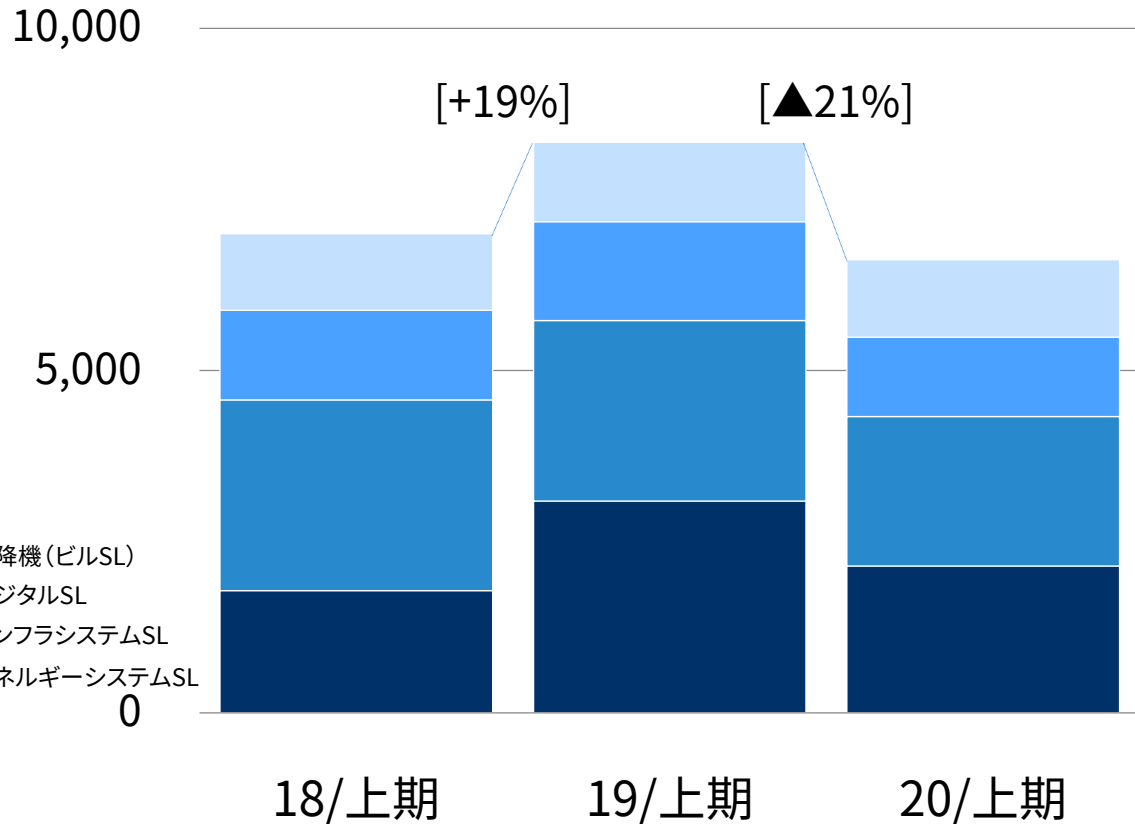
19

※1 2020年2月14日開示の東芝ITサービス株式会社に関する取引。19/上期に本取引として売上高215億円、営業利益9億円が含まれていますが、19/3Qに取消をしています。

# 受注高 受注残 推移

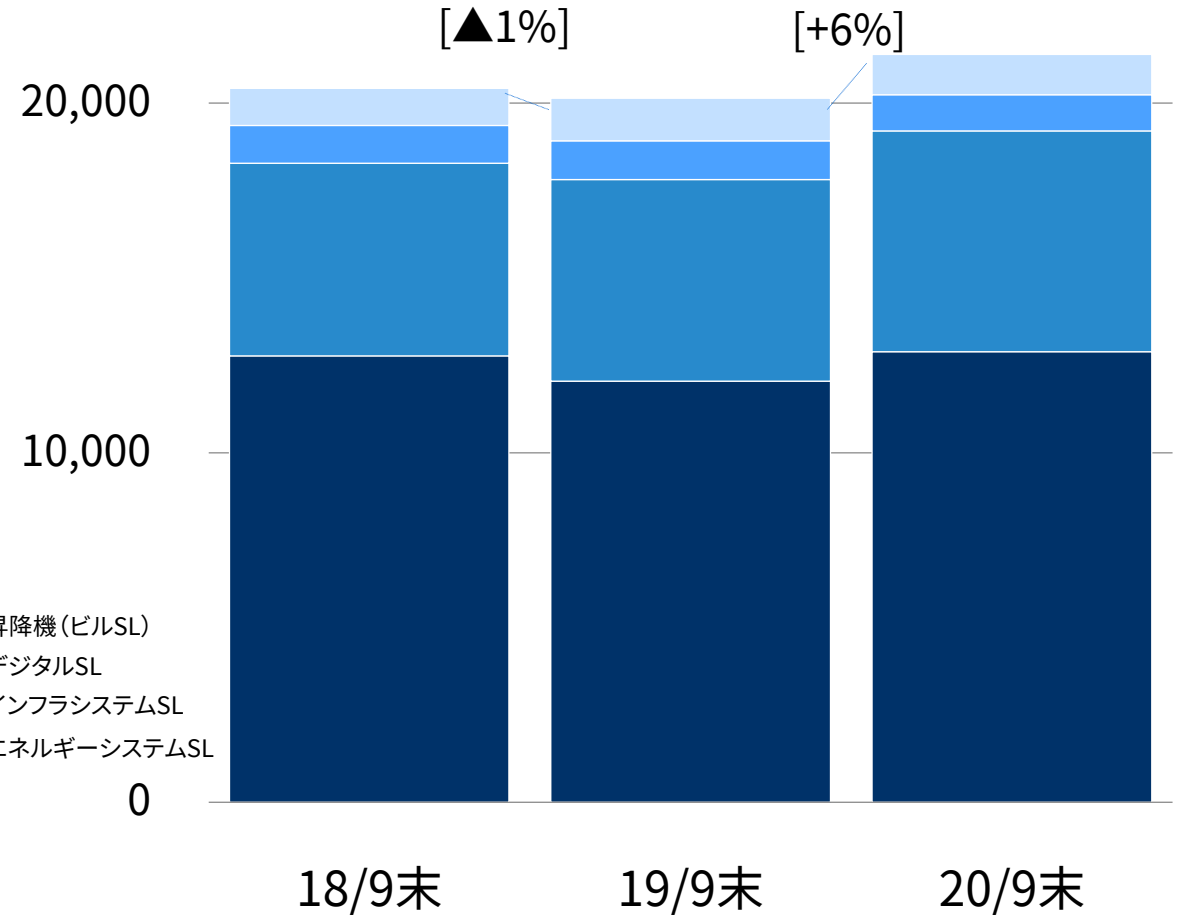
## 受注高は平年並みを堅持、受注残は堅調に推移

受注高



受注残

単位:億円



※”SL”はソリューションの略

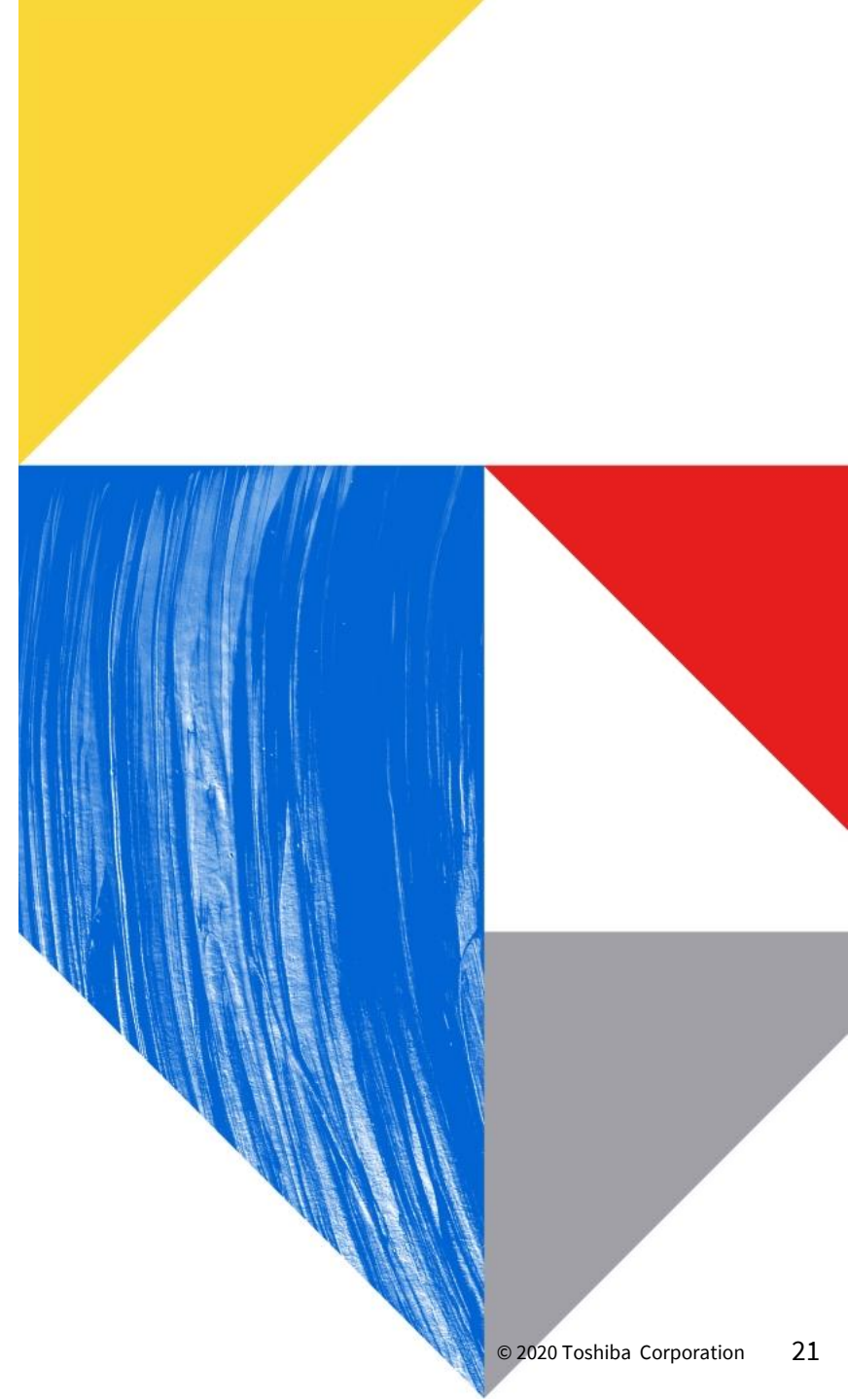
※エネルギーシステムソリューションにおける受注キャンセルとなった案件を除く

※受注高及び受注残は、社内管理上の経営指標です。受注残は、四半期報告書で公表している残存履行義務とは異なります。

※一部セグメントにおける集計対象の変更により、昨年度以前の実績値を変更しています。

# 03

## 補足説明事項



# キオクシア持分法損益

単位：億円

	持分法損益	(PPA影響) 内数	(停電影響) 内数	除特殊要因	
19年度	1Q実績	▲ 381	(▲80)	(▲96)	▲ 205
	2Q実績	▲ 232	(▲79)	(▲1)	▲ 152
	3Q実績	▲ 96	(▲81)	(3)	▲ 18
	4Q実績	42	(▲76)		118
20年度	1Q実績	11	(▲75)		86
	2Q実績	<b>17</b>	<b>(▲78)</b>		<b>95</b>

(ご参考) ビット成長率・ASP推移

	ビット成長 (対前Q)	ASP (対前Q)	
19年度	1Q実績	1桁%台前半の増加	10%台半ばの下落
	2Q実績	20%台前半の増加	1桁%台半ばの下落
	3Q実績	1桁%台後半の増加	1桁%台半ばの上昇
	4Q実績	1桁%台前半の増加	1桁%台半ばの上昇
20年度	1Q実績	1桁%台前半の減少	1桁%台前半の上昇
	2Q実績	<b>20%台半ばの増加</b>	<b>1桁%台後半の下落</b>

データ提供：キオクシア

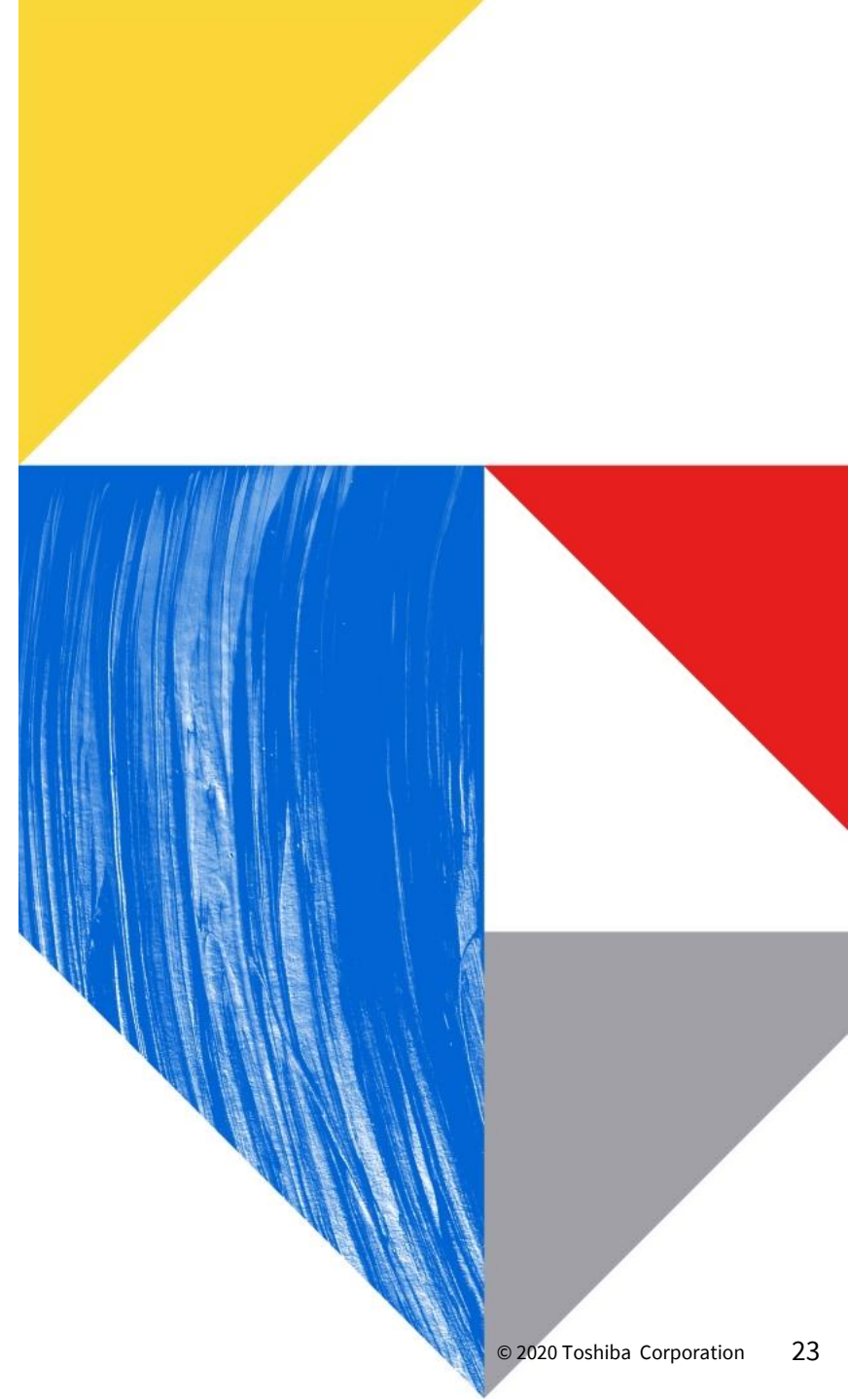
## [今後の見通し]

キオクシアの持分法損益に係る今後の見通しについて提供を受けていないため、当社の連結業績については実績のみのご説明とさせていただきます。

⇒ 20年度見通しにおいては、キオクシアの持分法損益について上期実績のみを織り込み、将来見通しは織り込んでいない参考値を開示しています。

# 04

## 2020年度業績予想



# 業績予想 全社

単位:億円

	19年度 実績	20年度 業績予想	差	対前回予想
売上高	33,899	<b>30,900</b>	▲2,999	▲900
伸長率			▲9%	
コア営業損益	1,616	<b>2,200</b>	+584	0
ROS ※1	4.7%	<b>6.5%</b>	+1.8%pt	+0.1%pt
構造改革費用等	▲108	<b>▲200</b>	▲92	0
コロナ影響	▲203	<b>▲900</b>	▲697	0
営業損益	1,305	<b>1,100</b>	▲205	0
ROS	3.8%	<b>3.6%</b>	▲0.2%pt	+0.1%pt
EBITDA	2,101	<b>1,950</b>	▲151	0
EBITDAマージン	6.2%	<b>6.3%</b>	+0.1%pt	+0.2%pt
継続事業 税引前損益 ※	▲475	<b>1,000</b>	+1,475	0
当期純損益 ※	▲1,146	<b>500</b>	+1,646	0
ROE	マイナス	<b>5.2%</b>	-	-
ROIC ※2	マイナス	<b>6.0%</b>	-	-
フリー・キャッシュ・フロー	▲2,647	<b>▲700</b>	+1,947	+200

	20/3末 実績	21/3末 見通し	差	対前回予想
株主資本 ※	9,398	<b>9,700</b>	+302	0
株主資本比率	27.8%	<b>27.7%</b>	▲0.1%pt	0.0%pt
Net有利子負債 ※	182	<b>1,400</b>	+1,218	▲200
Net D/Eレシオ ※	2%	<b>14%</b>	+12%pt	▲2%pt
期末日為替レート (米ドル)	109円	<b>105円</b>	▲4円	0円

※業績予想は、20年度のキオクシア持分法損益について上期実績のみを織り込み、将来見通しを織り込んでいない参考値です。

※1 ROS=コア営業損益/有価証券報告書及び四半期報告書等に開示される売上高からコロナウイルス影響を除いた売上高

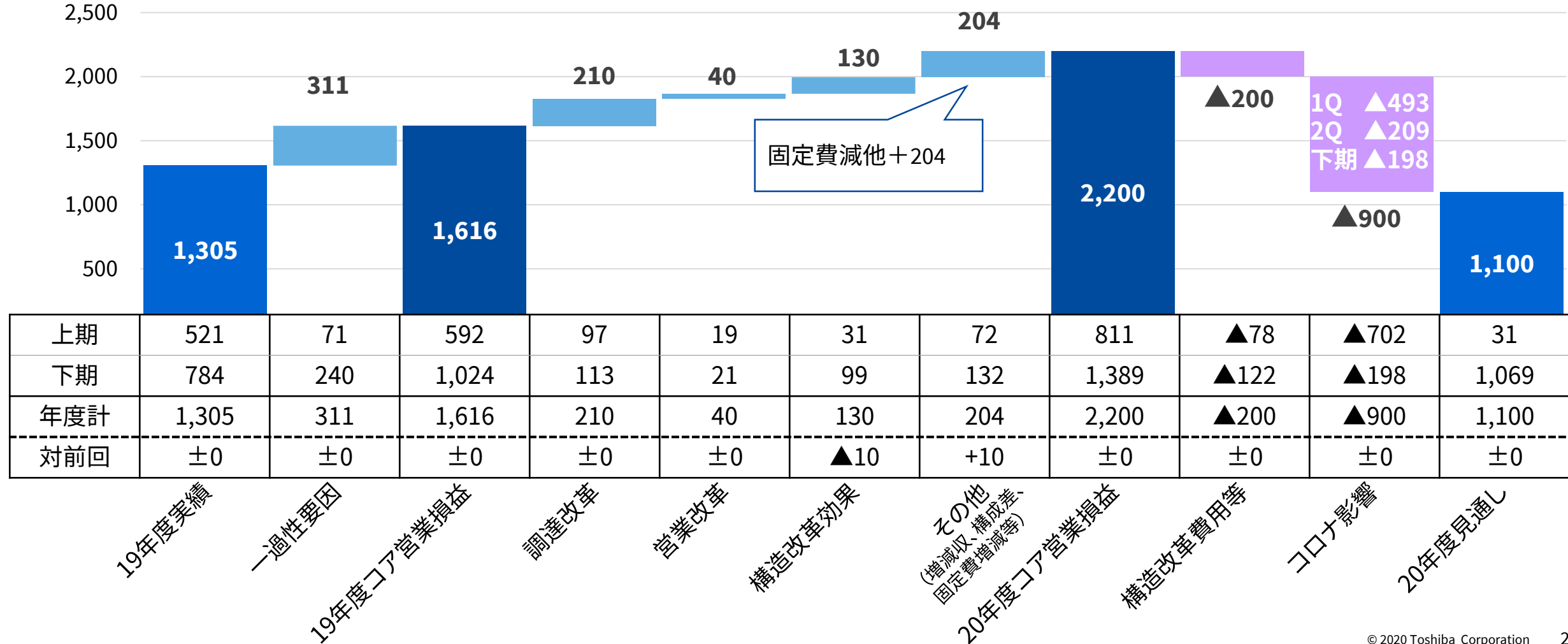
※2 ROIC=税引前損益×(1-税率)÷(純有利子負債+純資産)



# 営業損益分析(19年度→20年度)

## 20年度営業利益見通し(1,100億円)は不変

単位:億円



# 業績予想 セグメント別

単位:億円		19年度 実績	19年度 実績 コアベース	20年度 業績予想 コアベース	対前年 コアベース	20年度 セグメント別 コロナ影響	対前回予想 コアベース
エネルギーシステム ソリューション	売上高	5,688	5,713	<b>5,190</b>	▲523	▲290	▲60
	営業損益	318	334	<b>360</b>	+26	▲70	0
	ROS	5.6%	5.8%	<b>6.9%</b>	+1.1%pt		0.0%pt
インフラシステム ソリューション	売上高	7,350	7,378	<b>7,240</b>	▲138	▲140	▲70
	営業損益	477	487	<b>560</b>	+73	▲50	+40
	ROS	6.5%	6.6%	<b>7.7%</b>	+1.1%pt		+0.6%pt
ビル ソリューション	売上高	5,701	5,789	<b>5,970</b>	+181	▲470	+20
	営業損益	291	317	<b>440</b>	+123	▲130	▲40
	ROS	5.1%	5.5%	<b>7.4%</b>	+1.9%pt		▲0.7%pt
リテール&プリンティング ソリューション	売上高	4,904	5,033	<b>4,800</b>	▲233	▲800	0
	営業損益	145	207	<b>310</b>	+103	▲210	0
	ROS	3.0%	4.1%	<b>6.5%</b>	+2.4%pt		0.0%pt
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	7,456	7,694	<b>8,350</b>	+656	▲1,250	▲320
	営業損益	134	308	<b>560</b>	+252	▲380	▲10
	ROS	1.8%	4.0%	<b>6.7%</b>	+2.7%pt		+0.1%pt
デジタル ソリューション	売上高	2,524	2,528	<b>2,530</b>	+2	▲230	+40
	営業損益	168	190	<b>250</b>	+60	▲60	+10
	ROS	6.7%	7.5%	<b>9.9%</b>	+2.4%pt		+0.3%pt
その他・消去	売上高	276	282	<b>20</b>	▲262	▲20	▲110
	営業損益	▲228	▲227	<b>▲280</b>	▲53		0
合計	売上高	33,899	34,417	<b>34,100</b>	▲317	▲3,200	▲500
	営業損益	1,305	1,616	<b>2,200</b>	+584	▲900	0
	ROS	3.8%	4.7%	<b>6.5%</b>	+1.8%pt		+0.1%pt
構造改革費用等及び コロナ影響	売上高		▲518	<b>▲3,200</b>	▲2,682		
	営業損益		▲311	<b>▲1,100</b>	▲789		

※コアベース:有価証券報告書及び四半期報告書に開示される売上高及び営業損益から構造改革費用等や新型コロナウイルス影響を除いたもの。

## 今年度 配当予想

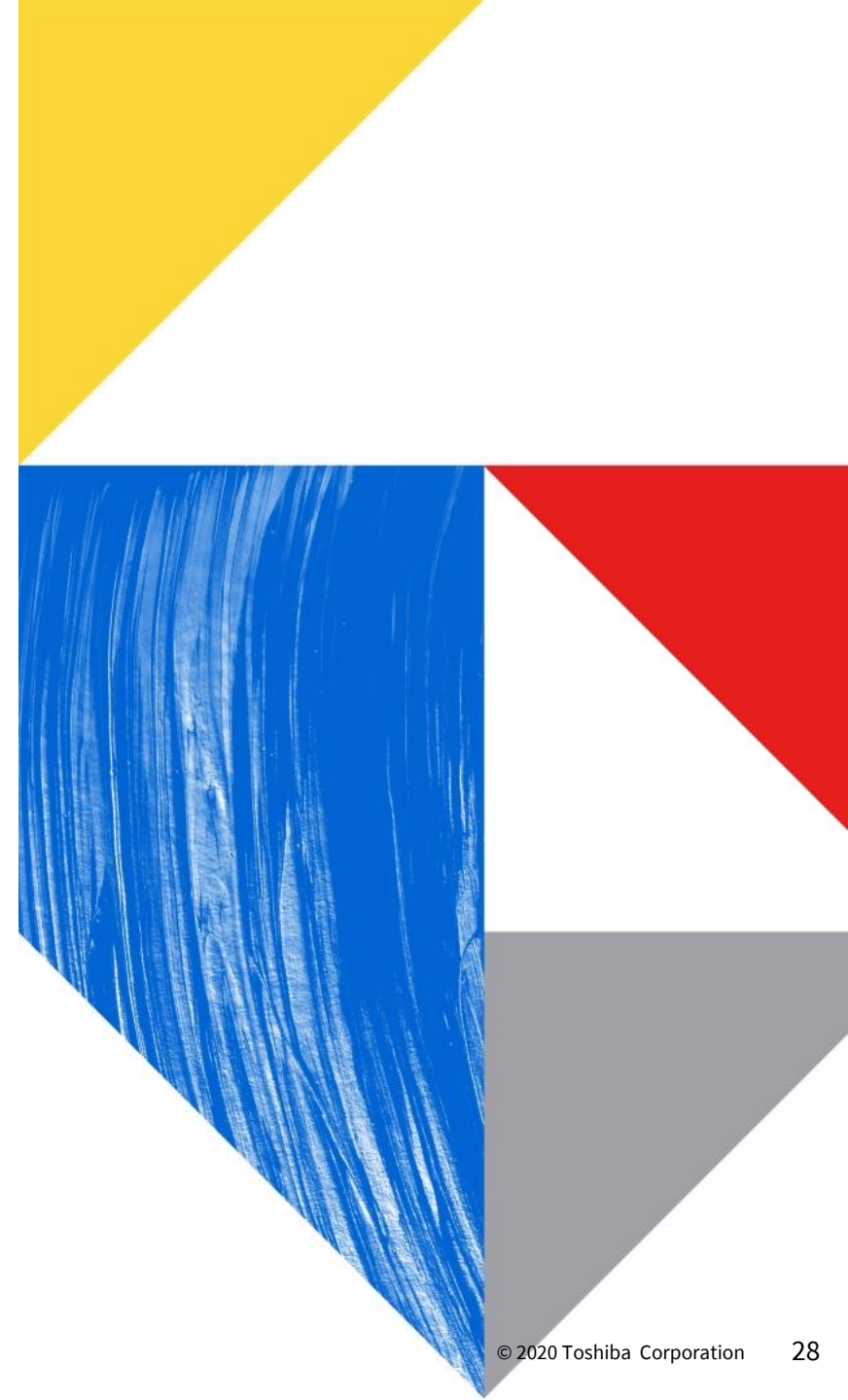
- ✓ 中間配当： 10円
- ✓ 期末配当(予想)： 30円
- ✓ 年間配当(予想)： 40円(対前期20円増配)

## 今後の 配当方針

- ✓ 東芝Nextプランの実行により、安定的な配当増額を目指す

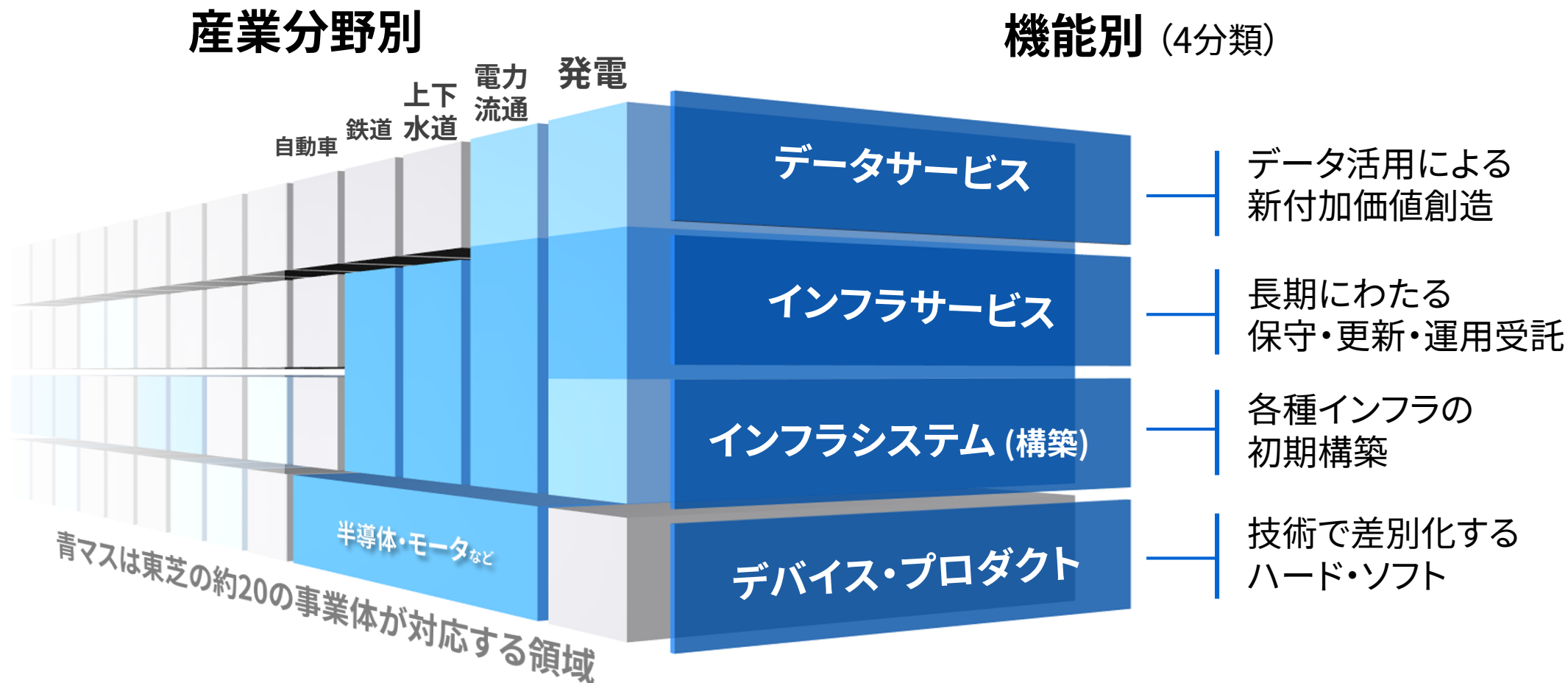
# 05

## 新セグメント別現状と計画



# 21年度以降の新セグメント

## インフラサービスを核として成長を実現する



# セグメント分類の考え方

## 基本基準

- 事業はできる限りROICを計算できる単位で分割
- 20年度コアベースでの事業毎の粗利のうち、サービス(更新、修理、保守、運用等)が過半を占める事業をインフラサービスに分類
- 構造改革/モニタリング事業は除外、インキュベーション事業は別集計(工場等の不可分資産は他事業が保有)
- 次期中計期間中(22年度～24年度)は、事業のセグメント変更を行わない

# 新セグメント別現状と計画

単位:億円

新セグメント*1		18年度	19年度	20年度	19-20差異
インフラサービス	売上高*2	1.28兆円	1.29兆円	1.29兆円	0%
	営業利益*2 (ROS)	900億円 (7%)	1,200億円 (9%)	1,200億円 (9%)	0億円 (0%)
	ROIC*3	22%	27%	26%	▲1%
インフラシステム	売上高	0.75兆円	0.79兆円	0.78兆円	▲1%
	営業利益 (ROS)	100億円 (2%)	300億円 (3%)	500億円 (6%)	+200億円 (+3%)
	ROIC	9%	9%	9%	0%
デバイスプロダクト	売上高	1.18兆円	0.97兆円	1.03兆円	+6%
	営業利益 (ROS)	300億円 (3%)	400億円 (4%)	800億円 (8%)	+400億円 (+4%)
	ROIC	16%	8%	9%	+1%

\*1 現行セグメントを一部細分化した上で、新セグメントに分類し簡便的に合計したもの。一部の共通口や構造改革事業、及び一過性費用は除外し補正

\*2 売上高・営業利益はコアベース \*3 ROIC計算には、新型コロナウイルス影響、構造改革費用等を含む。19年度以前は、20年度との比較の為に前受金、不採算プロジェクトの支払、下請法対応による影響を補正。ROIC=税引前損益×(1-税率)÷(純有利子負債+純資産)

# Appendix



# 設備投資(発注ベース)

単位:億円

設備投資(発注ベース)	19年度 実績	20年度 見通し	対前回予想 (8/12公表)	20/上期 実績	20/2Q 実績	20/2Qの主な案件
エネルギーシステム ソリューション	144	150	▲20	49	32	
インフラシステム ソリューション	165	270	0	57	33	
ビル ソリューション	188	150	▲50	40	19	
リテール&プリンティング ソリューション	75	70	▲30	24	16	
デバイス&ストレージ ソリューション	336	410	▲20	155	69	大容量企業向けHDD増産投資
デジタル ソリューション	22	25	▲5	7	6	
その他	144	325	▲25	220	47	
<b>合計</b>	<b>1,074</b>	<b>1,400</b>	<b>▲150</b>	<b>552</b>	<b>222</b>	
<b>投融資</b>	<b>64</b>	<b>250</b>	<b>▲100</b>			

# エネルギーシステムソリューション 主要事業内訳

		19年度 実績	19年度 実績 コアベース	20年度 業績予想 コアベース	対前年 コアベース	対前回予想 コアベース
単位:億円						
エネルギーシステム ソリューション	売上高	5,688	5,713	<b>5,190</b>	▲523	▲60
	営業損益	318	334	<b>360</b>	+26	0
	ROS	5.6%	5.8%	<b>6.9%</b>	+1.1%pt	0.0%pt
原子力	売上高	1,400	1,400	<b>1,587</b>	+187	▲55
	営業損益	162	162	<b>167</b>	+5	▲3
	ROS	11.6%	11.6%	<b>10.5%</b>	▲1.1%pt	+0.1%pt
火力・水力	売上高	2,225	2,247	<b>1,851</b>	▲396	+161
	営業損益	35	42	<b>108</b>	+66	+25
	ROS	1.6%	1.9%	<b>5.8%</b>	+3.9%pt	+0.9%pt
送変電・配電等	売上高	2,176	2,179	<b>1,868</b>	▲311	▲214
	営業損益	184	185	<b>120</b>	▲65	▲28
	ROS	8.5%	8.5%	<b>6.4%</b>	▲2.1%pt	▲0.7%pt
その他	売上高	▲113	▲113	<b>▲116</b>	▲3	+48
	営業損益	▲63	▲55	<b>▲35</b>	+20	+6

※コアベース:有価証券報告書及び四半期報告書に開示される売上高及び営業損益から構造改革費用等や新型コロナウイルス影響を除いたもの。

# インフラシステムソリューション 主要事業内訳

## ビルソリューション

		19年度 実績	19年度 実績 コアベース	20年度 業績予想 コアベース	対前年 コアベース	対前回予想 コアベース
インフラシステム ソリューション	売上高	7,350	7,378	<b>7,240</b>	▲138	▲70
	営業損益	477	487	<b>560</b>	+73	+40
	ROS	6.5%	6.6%	<b>7.7%</b>	+1.1%pt	+0.6%pt
公共インフラ	売上高	4,232	4,241	<b>4,240</b>	▲1	+90
	営業損益	414	415	<b>400</b>	▲15	+50
	ROS	9.8%	9.8%	<b>9.4%</b>	▲0.4%pt	+1.0%pt
鉄道・産業システム <sup>※1</sup>	売上高	3,829	3,848	<b>3,700</b>	▲148	▲160
	営業損益	63	72	<b>160</b>	+88	▲10
	ROS	1.6%	1.9%	<b>4.3%</b>	+2.4%pt	▲0.1%pt
その他	売上高	▲711	▲711	<b>▲700</b>	+11	0
ビルソリューション	売上高	5,701	5,789	<b>5,970</b>	+181	+20
	営業損益	291	317	<b>440</b>	+123	▲40
	ROS	5.1%	5.5%	<b>7.4%</b>	+1.9%pt	▲0.7%pt
昇降機		2,329	2,358	<b>2,290</b>	▲68	+21
照明	売上高	1,328	1,356	<b>1,417</b>	+61	▲25
空調		2,081	2,112	<b>2,304</b>	+192	+6

※コアベース:有価証券報告書及び四半期報告書に開示される売上高及び営業損益から構造改革費用等や新型コロナウイルス影響を除いたもの。

※1 終息事業の損失等を含む

# デバイス&ストレージソリューション 主要事業内訳

		19年度 実績	19年度 実績 コアベース	20年度 業績予想 コアベース	対前年 コアベース	対前回予想 コアベース
デバイス&ストレージ ソリューション	売上高	7,456	7,694	<b>8,350</b>	+656	▲320
	営業損益	134	308	<b>560</b>	+252	▲10
	ROS	1.8%	4.0%	<b>6.7%</b>	+2.7%pt	+0.1%pt
半導体 <sup>※1</sup>	売上高	2,958	3,097	<b>3,420</b>	+323	▲100
	営業損益	13	115	<b>280</b>	+165	▲10
	ROS	0.4%	3.7%	<b>8.2%</b>	+4.5%pt	0.0%pt
HDD他 <sup>※2</sup>	売上高	4,498	4,597	<b>4,930</b>	+333	▲220
	営業損益	121	193	<b>280</b>	+87	0
	ROS	2.7%	4.2%	<b>5.7%</b>	+1.5%pt	+0.3%pt

※1：ディスクリット、システムLSI、ニューフレアテクノロジー社（NFT）

※2：HDD、部品材料、転売等

**TOSHIBA**